

きっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

# PASSPORT.

vol. 78  
FREE PAPER  
地域の出来事に触れる  
ソーシャルマガジン

とくしま市活センター TOKUSHIMA NPO CENTER

## 徳島市市民活力開発センターとは？

徳島市市民活力開発センター（市活センター）ではNPO活動の支援、行政との協働事業を推進するための拠点として、徳島市や周辺の11市町村（徳島東部地域定住自立圏）に活動の場を持つNPO団体へさまざまなサポートを行っています。指定管理者として、認定特定非営利活動法人新町川を守る会が運営しています。

### 開館日

火～土曜日 10:00～21:00 / 日曜・祝日 10:00～18:00

### 休館日

月曜日 ※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日  
年末年始・お盆

### 連絡先

[TEL] 088-611-3886

[FAX] 088-624-3860

[mail] nposhimin@fm.nmt.ne.jp

[HP] www.tokushima-shikatsu.com

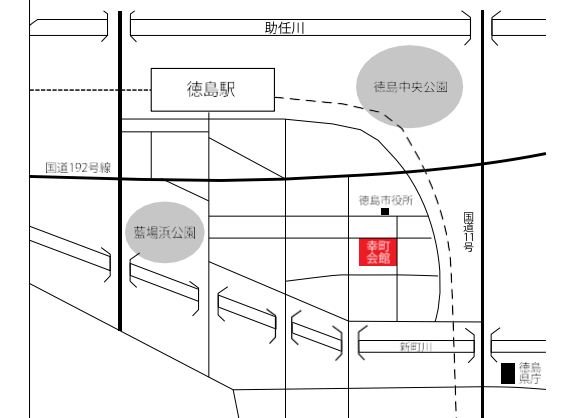
HP



Facebook



## ACCESS MAP



### 所在地

〒770-0847 徳島市幸町3-71-1 幸町会館1階

### お車で越しの方

当センターの駐車場(1台分)もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

### バイク・自転車でお越しの方

センター東側の駐輪場をご利用ください。

デートDV・DV研究会『HYGGE』



トモニSunSunマーケット

とくしま市活センター

## PASSPORT.

発行月：2021年7月 号数：78号 発行：徳島市市民活力開発センター  
この広報誌に関するご意見、ご感想は、発行元である徳島市市民活力開発センター（088-611-3886）までご連絡下さい。

## イベント情報大募集！！

PASSPORT.への掲載や、メールマガジンでの配信、徳島市市民活力開発センターの掲示板へ配置させていただく情報を随時募集しております。「取材に来てほしい!」「こんなイベントするよ!」といったお声をお待ちしております!!





## 居心地よく穏やかで 満足のいく生活を目指して。

### DVと 向き合う

「DV被害にあっている人、DV行動を辞めたくても辞められない人、社会や家庭に潜むこれらの問題にはどのように対処すればいいのでしょうか？」  
DVに関する様々な教育プログラムや調査研究を行うHYGGE(ヒュッゲ)の共同代表である高山さんに話を伺いました。

プログラムを通して、DVの態度や行動の振り返りをするものだ。パートナーや子どもとの共感的態度や尊重する関係について学び、DV行動をしない態度や行動へと繋げていくような内容になっているそう。プログラムは概ね52回以上に及び、AWARE(アウェア)という市民活動団体が認定したDV加害者プログラムを使用しているとのこと。受講には事前申し込みが必要で、毎月2回、第24土曜日の19時～21時または第24日曜日の14時～16時の何れかを選択するようになっている。

### 自分の変化に気付く瞬間

ヒュッゲの共同代表である高山さんは、「過去に遡って、自分の精神面とか言動を振り返ることが大事」と語った。どんな言葉を投げかけたのか、どんな気持ちで発した言葉なのか、そのときに相手はどのように感じたのだろうか。と、出来る限り詳細に当時の状況を振り返るのを大事にしているとのこと。また、複数人のグループでプログラムに取り組んでいるため、参加者同士で互いに質問しあったり、相談し合うのも良い刺激となっているそう。参加者

からは「プログラムに参加しているうちに、明らかにパートナーの様子が変わった。」というような声もあがっており、以前は暗かったパートナーの変化を見ることが、自分自身が変われたという実感に繋がったようだ。

### 今後の展望

ヒュッゲでは、先に紹介した「デートDV・DV加害者更生教育」以外にも、「調査研究活動」や「講演会」、「DV被害者の方への相談事業」など、様々な活動を行っている。そんなヒュッゲの今後の展望としては「ネットワークづくり」に注力したいとのこと。徳島県内での多様な団体との連携することで、DV被害に悩む方々へより手厚い支援を行えるようにしたいのだという。HYGGE(ヒュッゲ)はデンマーク語で「居心地がいい空間」という意味。自身の暮らしが居心地良く穏やかで満足度の高い感じ方ができるような生活ができるように、今後益々活躍の幅が広がっていくだろう。

### HYGGE(ヒュッゲ)とは？

デートDV・DV研究会『HYGGE』とは、2021年に新たに設立された団体だ。DVとは、英語の「Domestic Violence(ドメスティックバイオレンス)」の頭文字を取って略したものであり、デートDVは交際中のカップル間に起るDVのことを指す。DVには殴る、蹴るといった身体的暴力だけでなく、精神的な暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力、行動制限などの社会的暴力の意味も含んでいる。また、DVは社会や家庭における「力と支配」、暴力容認意識、ジェンダー(社会的性差別)などに起因しているとのこと。ヒュッゲでは、DVに苦しむ必要のない社会を目指して、デートDV・DVに関する調査を行い、デートDV防止教育プログラムやデートDV・DV加害者プログラム等を実施している。

### デートDV・DV加害者 更生教育とは？

ヒュッゲの具体的な活動の中には「デートDV・DV加害者更生教育」というものがある。これはDV行動をやめたいと思っている人達がグループでの教育

### INFORMATION

#### HYGGE(ヒュッゲ)

ジェンダー平等の社会を目指し、デートDV・DVに関する調査研究、教育プログラムの実施など、男女の役割分担から開放され、居心地のいい暮らしを作るお手伝いをしている。関心がある方は下記の連絡先へ遠慮なくお問い合わせください。

[ 電話番号 ]  
090-3189-8536

[ メール ]  
hygge.tokushima@gmail.com

HP

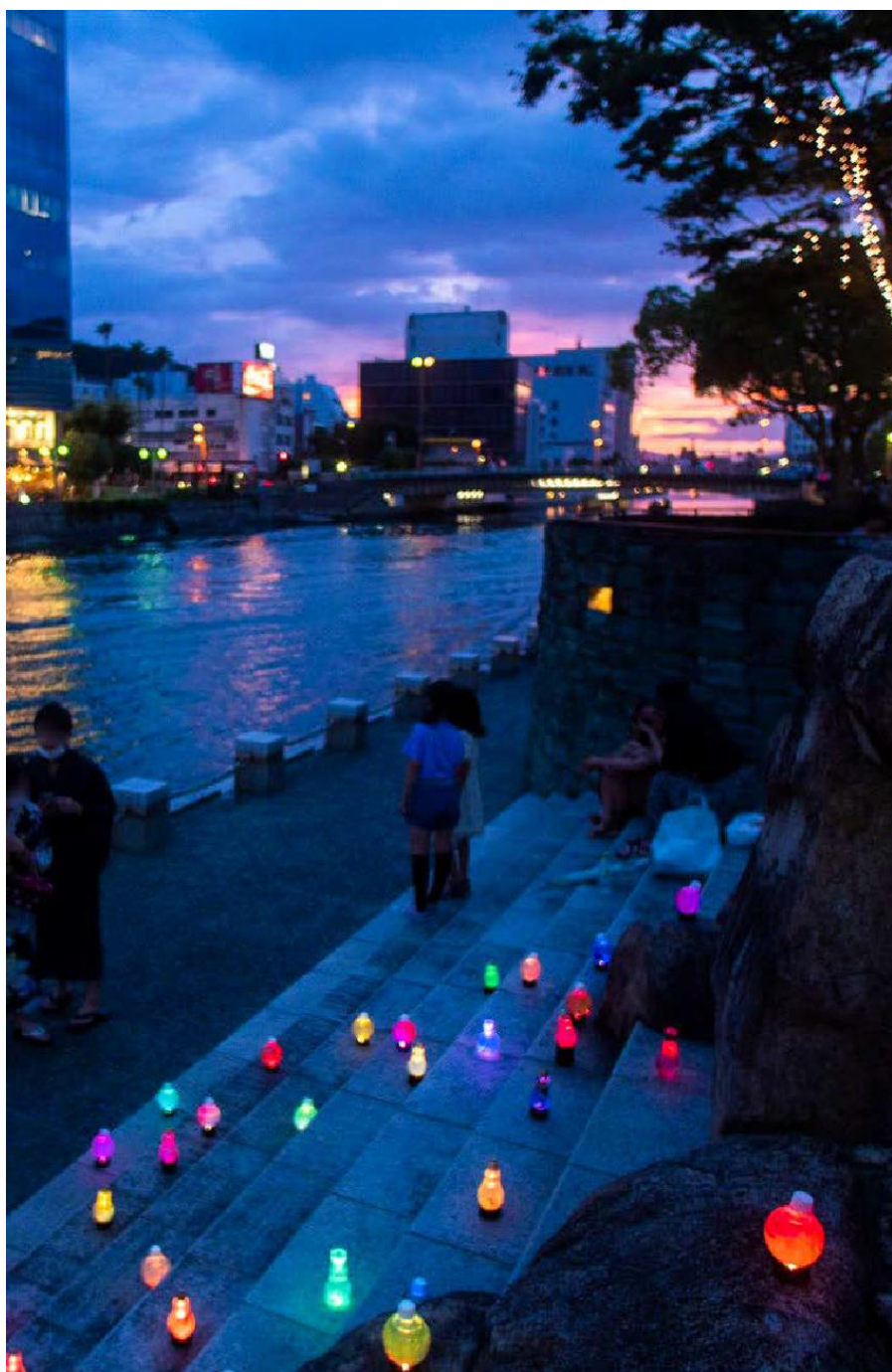


#### HYGGE Tube

今の所は会員向けの動画(非公開)しかアップされていないが、  
今後は一般向けに講座の情報などを追加する予定だ。

YouTube  
チャンネルは  
コチラ





## 学生主体でつくりあげる 「おもしろい」が詰まった日曜市！

### 夏の夜に 賑わいを

『NPO法人チャレンジサポートーズ』が開催している『SunSunマーケット』は7月～9月にかけては『ナイトSunSunマーケット』という夜間の開催となるそうです。開催の経緯や普段と違いなど、運営に携わる学生代表へ話を伺いました。

ん、検温や消毒などの対策は施されて

る。出店されているお店は様々で、焼き鳥などの飲食もあれば、骨盤矯正の体験ができるお店まである。夜開催へと移行したのは夏の猛暑を避けるためということだったが、確かに夜だと心地良いぐらゐの気温に感じる。涼しげで、夜ならではの趣のある雰囲気は、少しばかり忙しい日常を忘れさせてくれる心地良さがあつた。ちなみに『ナイトSunSunマーケット』のときは、普段よりもお客さんの滞在時間が長くなるそうだ。来場者数は3278人。新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが自粛となり、人々が集う環境が激減してしまった現在だからこそ、より一層このような街の賑わいのありがたさを感じたひと時となった。

### 企画運営の主体は大学生

『SunSunマーケット』は開催当初から、学生が主体となって運営している。そこで、現在学生代表を務めている堺真尋さんへ話を伺った。元々、高校生時代から生徒会などの活動に積極的に活動していた彼女は、『SunSunマーケット』のような、自ら企画をしたり運営したりすることに関心があったとのこと。 “ 自分達のアイデアを形にすることができ

ケット』でも会場のデザインを変えてみたい！”とか「光るボールを池に浮かべたらどうか?」、 「映えスポットをつくらう！」といった具合に、学生発信でのアイデアが議論されていたそうだ。映えスポットに関しては実際に器用され、川沿いの階段にお洒落なライトが設置された。日が沈んだ後には多くのお客さんがそこで写真の撮影をしており、インスタグラムへ投稿している様子も見受けられた。

### ボランティア大募集！

『SunSunマーケット』では一緒に運営に携わってくれる仲間を募集している。内容としては「企画・運営」になるが、できることの幅は非常に広いとのこと。堺さん自身も、写真を撮ったり、チラシを作ったり、自身が得意なことを活かしながら、団体の運営に貢献しているそうだ。写真が好きな人でも、デザインを試みたい人でも、ぜひチャレンジしてほしい。みんなで協力して一つのものをつくっていく時間が私は好きなので、そういうのに関心がある人におすすめしたいです。」と話してくれた。見学だけでも大歓迎とのことなので、関心がある方はぜひ一度マーケットを覗きに行ってみてほしい。

### SunSunマーケット

『SunSunマーケット』は2015年より第3日曜日に開催している日曜市だ。新町川・阿波製紙水際公園を会場とし、野菜やお米、地産で作られた加工品のお店が並ぶ。他にもハンドメイド作品からマッサージやデトックスのお店等、様々なジャンルのお店が出店されており、毎月このマーケットの開催を心待ちにしているお客さんもいるらしい。出店者は「色々な思いを込めて作り始めた商品を、そしてそれを販売するお店を、もっとたくさんの人々に知ってもらいたい。」といった想いを抱いたオーナーさん達が集まっているそうだ。そんな

『SunSunマーケット』は7～9月にかけての3か月間のみ、ナイトSunSunマーケットと名前を変え、第3土曜日の夜に開催する。今回は実際に参加し、当日の様子を取材

月明かりの元で楽しむマーケット  
2021年7月17日、ナイトSunSunマーケットの会場へと赴いた。会場に近づくといふライブをしている人の歌声が聴こえだし、お祭りのように賑わっている光景が見えてきた。もちろ

## INFORMATION

### SunSunマーケット

学生スタッフが企画運営し、盛り上げる新しい日曜市。事務局は『NPO法人チャレンジサポートーズ』が担っている。食品・伝統工芸・雑貨・ステージイベントなど様々なものを揃えており、一緒に徳島を盛り上げてくれる学生、出店者さんは随時募集中！とのこと。

【事務局】  
NPO法人チャレンジサポートーズ

【電話番号】  
070-5350-9033

【メール】  
tomonysunsun@gmail.com

HP



### SNSアカウントはこちら



Facebook

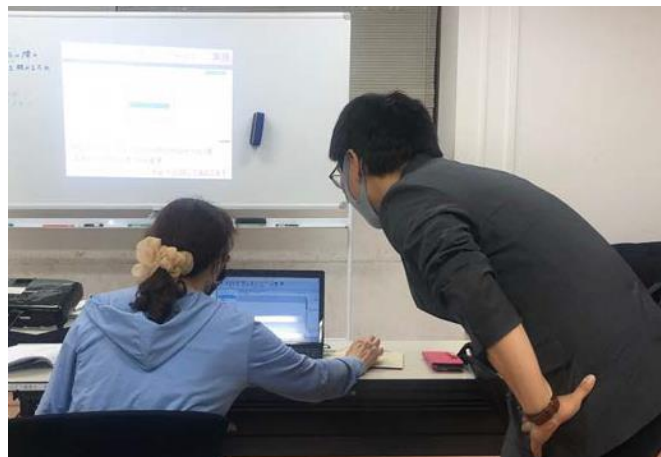


Instagram



Twitter

## NEWS

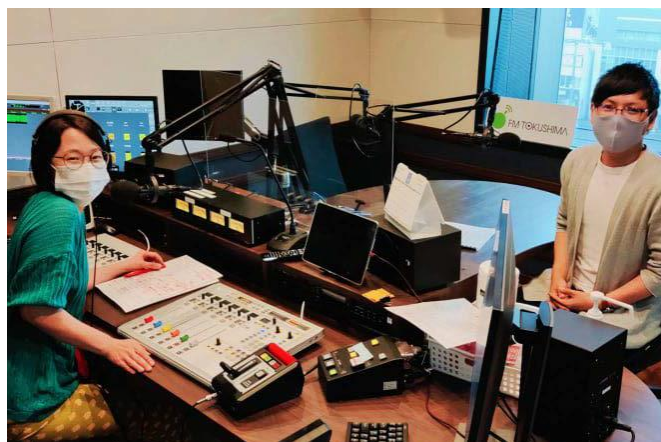


↑今回の講座では少人数での開催。無事に全ての参加者が自分で会議を開くことができました。

### NEWS 01 Zoomセミナー

令和3年6月25日、オンライン会議ツール「Zoom」の基本的な使い方を学ぶためのセミナーを開催しました。内容としてはアカウントの取得、基本設定の入力、他者へのZoom会議招待連絡、会議中のトラブル対応等についてレクチャーを行い、その後実際に参加者が模擬Zoom会議を開催するまでの実務を行いました。今後はオンライン会議で有効なファシリ

テーションの方法などの講座も行う予定です。



↑ラジオパーソナリティの方の話の引出しからが上手くて、気持ちよく話させていただきました。

### NEWS 02 FMとくしまへの出演

令和3年6月28日 FMとくしまの番組『Station×Station』に出演させていただきました。出演したのは徳島市市民活力開発センターのマネージャーである岸田。SDGsと未来について考える場づくりということで、「そもそもSDGsとはなにか?」という話や、岸田が取得している「2030SDGs公認ファシリテーター」の資格についての話をしました。

## SDGsについて体験する

近年よく耳にするようになった「SDGs」。何やら大事そうなものではありませんが、一体なぜこのようなものが生まれたのでしょうか？ SDGsの必要性について体験で学ぶカードゲーム「2030SDGs」について尋ねてみました。



Q 2030SDGsカードゲームとは？  
SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標になります。2030SDGsカードゲームは、チームを通じてSDGsの目標を達成するために、仮想の世界を自分たちでつくっていきながら、2030年までの道のりを体験するものです。SDGsの目標を細かく勉強するためのものではなく、SDGsの必要性や可能性

## Q&A

### SDGsって何？

岸田 侑

徳島市市民活力開発センターの統括マネージャー。2019年に『一般社団法人イマココラボ』が開催している養成講座にて「2030SDGs公認ファシリテーター」の資格を取得。高校の授業や企業研修でもSDGsに関するワークショップを行っている。

#### Q カードゲームの魅力は何ですか？

について、楽しみながら理解を深めるゲームとなっています。ただし、このゲームを体験するにはファシリテーターの存在と専用のカードキットが必要であり2030SDGs公認ファシリテーターと呼ばれる必要があります。

可能な限り現実を模し、ゲームの世界と現実の世界を紐づけることで、現実起こりえることとして体験できるような思想で開発されています。また、こうあるべきという「正解」や固有のストーリーを押し付けるのではなく、世界に起こりうるいろいろな可能性が表現されるゲームとしてデザインされていますので、最高の世界から最悪の世界までどんな世界も起こりうる設計になっています。ゲーム体験を現実として捉え、現実をどんな風に変えるのかを語り合うことで、個人の意識変容が社会システムの変容へ繋がることが気付くことができます。

#### Q どんな人(団体)におすすめですか？

企業、教育機関、自治体、NPOなど、さまざまなセクターに取り入れられ始めています。自分達の活動がどのようにSDGsと結びついているのかを知るために、カードゲームから触れてみるのも良いですね。もし関心を持たれた方はぜひ徳島市市民活力開発センターまでご連絡ください。

